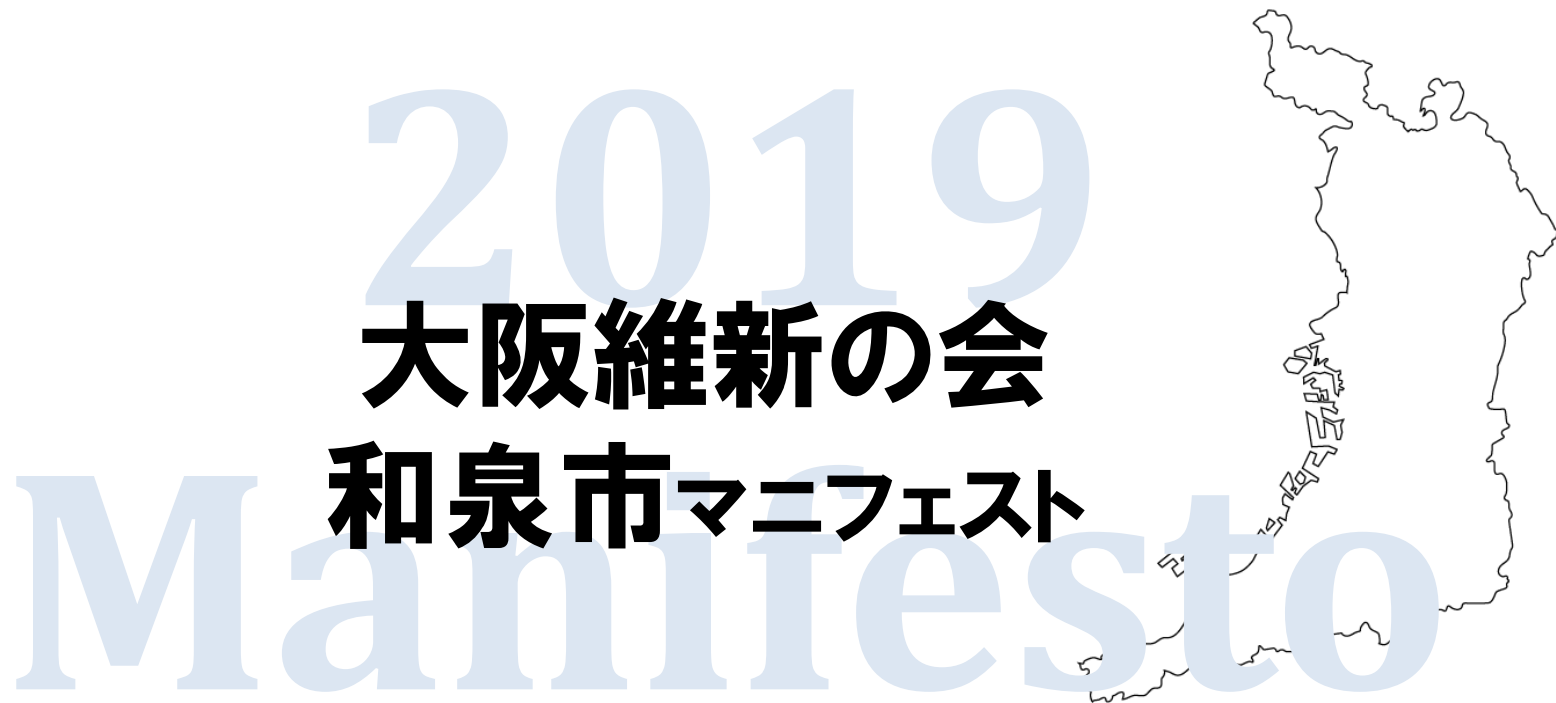
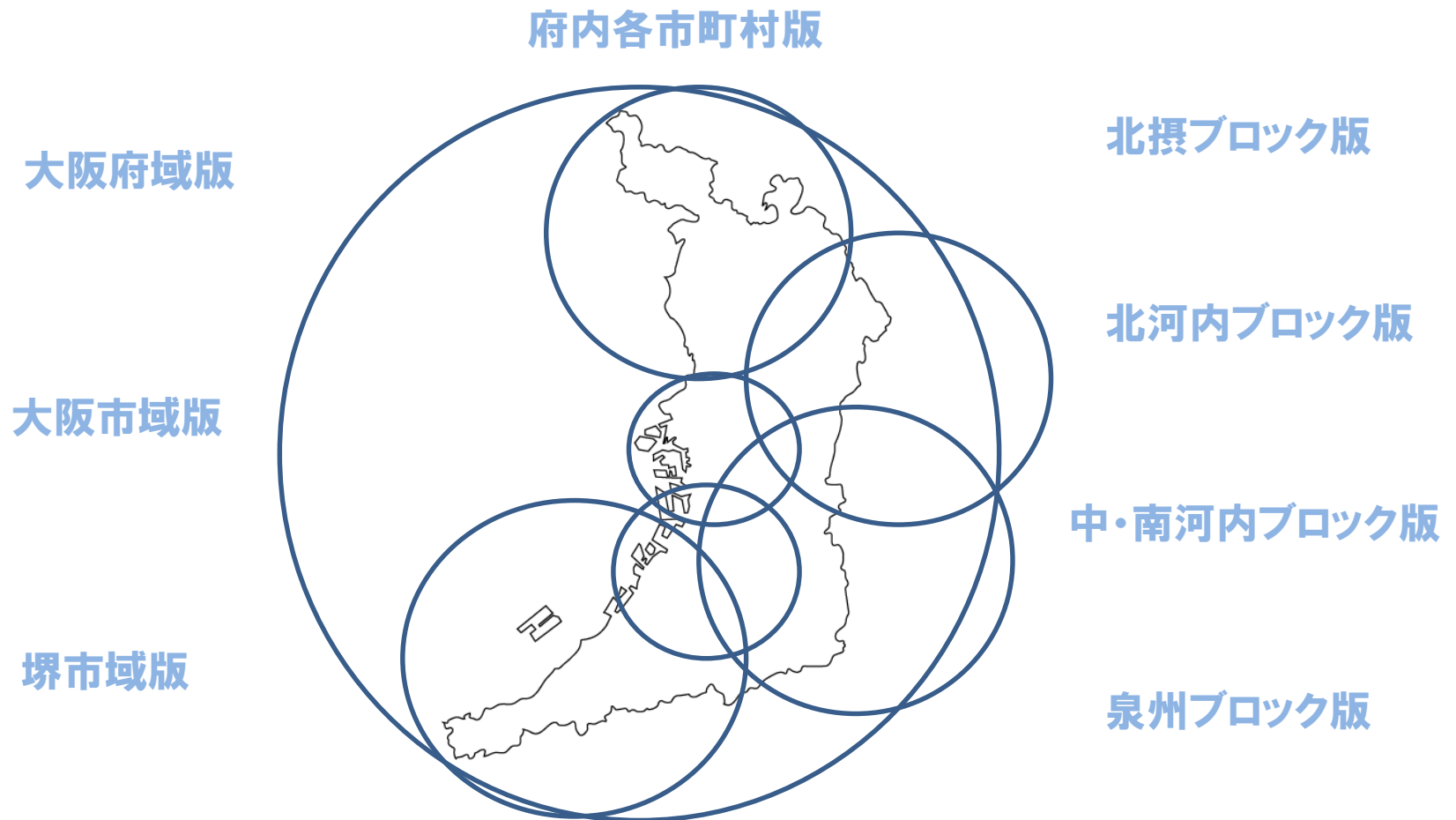


2019
**大阪維新の会
和泉市マニフェスト**



大阪維新の会 マニフェスト2019

大阪府域全体の広域戦略を進めるとともに、
府内各自治体、及び中広域ブロックから総合的に施策立案を展開していく



項 目	具体的施策	現状・課題認識
都市計画道路の見直し	●本市南部地域から中部、そして、隣接市である泉大津市までの和泉中央線の延伸	●本市を南北に貫く大動脈の欠如
歳入確保の財政政策	●住民負担を伴わない歳入確保策の確率(ガバメントクラウドファンディング等の手法を導入)	●歳出削減が重視されがちだが、今後きたるべく少子高齢化社会への備えが必要
災害発生時に使える財政基金の創設	●災害に備える基金の創設(ふるさと元氣寄附制度の中にも創設可能)	●災害発生時に、その被害に対し、いち早く対応するための平時からの備えが必要
高齢者運転免許自主返納サポート制度の充実	●和泉市内の企業人サポート制度の参加を要望する ●和泉市独自のサポート制度の策定	●高齢ドライバー（65歳以上）の交通事故件数は増加傾向で推移している ●大阪府のサポート制度は、主に大阪市の企業が中心になっている
特別養護老人ホームの待機者の解消	●地域密着型特別養護老人ホームの増設	●和泉市では現在約200名の待機者がいる
広域連携の推進	●ここの市町村の区域はそのまま、連携調整して取り組む@広域行政 ●「市町村合併」	●通勤、通学、市民活動など、人々の生活圏は市域を越えている ●少子高齢化による生産年齢人口の減少、福祉等の経費増で、財政状況は今後益々厳しくなる ●地方自治体は、高度な専門性と能力を備えて、行政サービスを行う必要がある